

平成 28 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 福島福祉施設協会

I 事業報告

1. 福祉施設経営

福島市の総合福祉施設経営団体として、合理的かつ能率的な施設経営を行うとともに、地域住民や利用者の要望に対処するため、地域社会と密接な連携を保ちながら、施設機能の活用を図るとともに福祉向上に努めた。

2. 法人運営

- (1) 社会福祉法の改正に伴い社会福祉法人としての重要な役割を果たすべく経営組織を見直し、新たな役員、評議員の体制を構築することでガバナンスの強化を図り、事業運営に関する透明性の向上ができるよう諸規程の整備を行った。
- (2) 職員の人材確保のため、職員採用試験を実施し臨時雇用職員から 4 名、新卒者 1 名及び即戦力となる経験者 1 名の優秀な人材を採用した。
- (3) 老朽化した施設の建替えや修繕のための財源の確保に努めた。

3. 役職員の資質向上

- (1) 社会福祉制度改革についての説明会を実施し、役員の社会福祉法人としての責務等に関する知識を深めた。
- (2) 人間性の向上と職員の士気高揚に努めた。
- (3) 役職員の意思疎通を図り、施設運営の高揚に努めた。
- (4) 職員の人材確保に努めるとともに、各種研修を通じ社会福祉理念、技術の修得向上に努めた。

4. 施設改善事業

- (1) 福島保育所改築の実施計画を立て、基本設計を実施した。
- (2) 介護保険通所介護及び訪問介護において「予防介護・日常生活支援総合事業」への移行に伴う事業運営の整備を行った。
- (3) 施設の改修を行い環境改善に努めた。
- (4) 施設の器具、遊具等の点検を行い安全管理に努めた。

5. 評議員会・理事会・監事会の開催

(1) 評議員会

平成 28 年 5 月 26 日（木）

議案第 1 号	平成 27 年度事業報告の件
議案第 2 号	平成 27 年度各会計決算認定の件
議案第 3 号	福島保育所改築事業の件
議案第 4 号	福島恵風園デイサービスセンター（指定地域密着型通所介護） 運営規程制定の件
議案第 5 号	平成 28 年度各会計資金収支補正予算の件

平成 28 年 12 月 15 日（木）

議案第 6 号	専決処分の件
専決第 1 号	平成 28 年度各会計資金収支補正予算の件
専決第 2 号	福島恵風園デイサービスセンター（指定地域密着型通所介護） 運営規程の一部変更の件
議案第 7 号	定款の一部変更の件

- 議案第 8 号 就業規則の一部変更の件
- 議案第 9 号 服務規程の一部変更の件
- 議案第 10 号 臨時雇用職員の雇用等に関する規程の一部変更の件
- 議案第 11 号 「平成 28 年度保育所委託費における処遇改善等加算」に係る一時金支給要綱制定の件
- 議案第 12 号 平成 28 年度各会計資金収支補正予算の件
- 報告事項 1 職員採用試験の実施について

平成 29 年 3 月 15 日 (水)

- 議案第 13 号 経理規程の一部変更の件
- 議案第 14 号 平成 28 年度各会計資金収支補正予算の件
- 議案第 15 号 役員等報酬規程制定の件
- 議案第 16 号 就業規則の一部変更の件
- 議案第 17 号 処務規程の一部変更の件
- 議案第 18 号 給与規程の一部変更の件
- 議案第 19 号 臨時雇用職員の雇用等に関する規程の一部変更の件
- 議案第 20 号 福島恵風園デイサービスセンター (介護予防通所介護) 運営規程の一部変更の件
- 議案第 21 号 ホームヘルパーステーションめぐみ (介護予防訪問介護) 運営規程の一部変更の件
- 議案第 22 号 福島恵風園デイサービスセンター (指定地域密着型通所介護) 運営規程の一部変更の件
- 議案第 23 号 ホームヘルパーステーションめぐみ (指定訪問介護) 運営規程の一部変更の件
- 議案第 24 号 平成 29 年度事業計画策定の件
- 議案第 25 号 平成 29 年度各会計資金収支予算の件
- 議案第 26 号 理事選任の件
- 議案第 27 号 監事選任の件
- 報告事項 1 定款変更認可について
- 2 福島保育所建替えに係る進捗状況について
- 3 平成 29 年度職員採用について

(2) 理事会

平成 28 年 5 月 26 日 (木)

- 議案第 1 号 平成 27 年度事業報告の件
- 議案第 2 号 平成 27 年度各会計決算認定の件
- 議案第 3 号 福島保育所改築事業の件
- 議案第 4 号 福島恵風園デイサービスセンター (指定地域密着型通所介護) 運営規程制定の件
- 議案第 5 号 平成 28 年度各会計資金収支補正予算の件
- 議案第 6 号 工事等に係る契約締結方法決定の件

平成 28 年 12 月 15 日 (木)

- 議案 7 号 専決処分の件
- 専決第 1 号 平成 28 年度各会計資金収支補正予算の件
- 専決第 2 号 福島恵風園デイサービスセンター (指定地域密着型通所介護)

	運営規程の一部変更の件
議案第 8 号	定款の一部変更の件
議案第 9 号	就業規則の一部変更の件
議案第 10 号	服務規程の一部変更の件
議案第 11 号	臨時雇用職員の雇用等に関する規程の一部変更の件
議案第 12 号	「平成 28 年度保育所委託費における処遇改善等加算」に係る一時金支給要綱制定の件
議案第 13 号	平成 28 年度各会計資金収支補正予算の件
議案第 14 号	福島恵風園ナースコール設置工事に係る契約締結方法決定の件
議案第 15 号	福島保育所改築工事に係る建築基本設計業務委託契約締結方法決定の件
議案第 16 号	評議員選任・解任委員会運営細則制定の件
議案第 17 号	評議員選任・解任委員選任の件
議案第 18 号	評議員選任候補者推薦の件
報告事項	1 職員採用試験の実施について

平成 29 年 3 月 15 日 (水)

議案第 19 号	経理規程の一部変更の件
議案第 20 号	平成 28 年度各会計資金収支補正予算の件
議案第 21 号	就業規則の一部変更の件
議案第 22 号	処務規程の一部変更の件
議案第 23 号	給与規程の一部変更の件
議案第 24 号	臨時雇用職員の雇用等に関する規程の一部変更の件
議案第 25 号	福島恵風園デイサービスセンター(介護予防通所介護)運営規程の一部変更の件
議案第 26 号	ホームヘルプステーションめぐみ(介護予防訪問介護)運営規程の一部変更の件
議案第 27 号	福島恵風園デイサービスセンター(指定地域密着型通所介護)運営規程の一部変更の件
議案第 28 号	ホームヘルプステーションめぐみ(指定訪問介護)運営規程の一部変更の件
議案第 29 号	福島恵風園給食業務委託契約の件
議案第 30 号	福島恵風園夜間見守り業務委託契約の件
議案第 31 号	平成 29 年度事業計画策定の件
議案第 32 号	平成 29 年度各会計資金収支予算の件
議案第 33 号	苦情解決第三者委員選任の件
議案第 34 号	施設長任命の件
報告事項	1 定款変更認可について 2 福島保育所建替えに係る進捗状況について 3 平成 29 年度職員採用について

(3) 監事会

平成 28 年度 業務執行、財務状況監査

平成 28 年 5 月 19 (木) 20 日 (金)

6. 役員等研修会への参加

- 平成 28 年度 社会福祉法人制度改革対応セミナー
主 催 福島県社会福祉法人経営者協議会
期 日 平成 28 年 6 月 30 日 (木)
場 所 郡山ユラックス熱海
出席者 木村 六朗
- 平成 28 年度 社会福祉法人理事研修
主 催 社会福祉法人福島県社会福祉協議会
期 日 平成 28 年 8 月 22 日 (月)
場 所 郡山ユラックス熱海
出席者 渡邊 英子
- 平成 28 年度 福祉サービスに関する苦情解決研修会
主 催 社会福祉法人福島県社会福祉協議会
福島県運営適正化委員会
期 日 平成 28 年 10 月 6 日 (木)
場 所 郡山ユラックス熱海
出席者 佐藤 清子 (苦情解決第三者委員)
- 平成 28 年度 社会福祉法人監事研修
主 催 社会福祉法人福島県社会福祉協議会
期 日 平成 28 年 11 月 21 日 (月)
場 所 郡山ユラックス熱海
出席者 阪内 戦三郎
- 平成 28 年度 社会福祉法人制度改革セミナー
主 催 福島県社会福祉法人経営者協議会
期 日 平成 28 年 12 月 7 日 (水)
場 所 ホテル華の湯
出席者 木村 六朗

7. 職員研修の実施

- 平成 28 年度 新規採用職員研修会
期 日 平成 28 年 10 月 3 日 (月)
場 所 協会会議室
内 容 半年間の振り返りとこれからの課題
参加人数 平成 28 年 4 月 1 日付採用職員 4 名
- 平成 28 年度 職員合同研修会
期 日 平成 28 年 10 月 22 日 (土)
場 所 福島市こどもの夢を育む施設 こむこむ
内 容 アンガーマネジメント入門講座

参加人数 119名

平成28年度 キャリアパス研修会

期 日 平成29年3月8日(水)

場 所 協会会議室

内 容 施設におけるキャリアパスの考え方

出席者 保育所・養護老人ホームの施設長及び主任

Ⅱ 実績報告書

養護老人ホーム

福島恵風園

1. 運営管理

- (1) 入所者の終のすみ家と考え、快適な生活が送れるよう、健康、食事、生活に潤いを与える行事活動の充実を図った。
- (2) 介護の必要な入所者は介護保険サービスを利用し、機能の維持を図った。
- (3) 被虐待高齢者、一人暮らしによる生活苦の高齢者、身元引受人のいない高齢者の積極的受け入れを行った。
- (4) 100名の定員を充足するため、関係事業所にパンフレットなど送付すると共に、地域で生活支援を必要としている高齢者を入所につなげるよう福島市に働きかけた。
- (5) 養護老人ホーム入所の実態が入所基準と大差があるため、行政へ現状の報告と実状に合った職員配置の要求をした。
- (6) 「福島市あらかわクリーンセンター」からの給湯を活用した。

2. 職員体制

- (1) 職員間の共通課題意識向上のため、各種研修会へ参加した。
平成28年度より新たに参加
 - ・「自動車運転企業向け研修」(生活相談員・主事)
 - ・福島県消防学校「自衛消防隊教育訓練」(支援員)
- (2) 夜間業務、園内清掃業務について「福島市シルバー人材センター」に継続委託した。
- (3) 給食業務について「日清医療食品株式会社」に継続委託した。

3. 施設整備

- (1) 新設井戸さく井工事
- (2) 施設・車庫の外壁などの雨漏り補修工事
- (3) 正門外灯LED交換
- (4) 井戸加圧ポンプ・ポンプ廻り配管(消火栓ポンプ室内)取替え工事
- (5) 浄化槽送風機(ロータリーブローアーNO2)取替え工事
- (6) ナースコール取替え工事を行った。
- (7) 緊急通報装置の導入
- (8) 看取り支援器の導入

4. 健康管理

- (1) 定期健康診断、結核検診、検便、インフルエンザ予防接種などを実施した。
- (2) インフルエンザ・ノロウイルスについて予防のための啓蒙、各所へ消毒設備の設置、施設内の消毒・加湿等予防に努めた。
- (3) インフルエンザを発症した場合の予防薬投与について、囑託医の承諾を得て体制を整えた。

5. ニーズへの対応

- (1) アンケートをもとに6種類の旅行を企画し、27名が参加した。
- (2) 食事費用は参加者負担の「外食の会」を新たに企画し、参加者36名が食事を楽しんだ。
- (3) 旅行の他に花見、紅葉狩り、買い物サービス、園外集会などの充実を図った。

- (4) 毎月の食料品訪問販売と年2回の衣料品の訪問販売を実施した。
 - (5) 洗濯の出来ない入所者のためクリーニング業者を利用した。
 - (6) テレビなど電気製品の居室での利用を継続した。
 - (7) 自分らしく最後を迎えるため、入所者及び身元引受人に「延命措置」についての希望をとった。
6. 地域交流活動
- (1) 「七夕盆踊り大会」「運動会」を地域の協力を得て実施した。
 - (2) ボランティア、慰問などの積極的な受け入れを行った。
 - (3) 学生の「体験学習」の場の提供と保育園、幼稚園の幼児との交流を継続実施した。
7. 利用状況

定員		100 人		
入所	人数(3月31日現在)	102 人		
		通常入所		
		男	女	計
		20	82	102
		被災者受入		
		男	女	計
	0	0	0	
退所	人数	19 人		
	理由	男	女	計
	長期入院	0	1	1
	死亡	1	11	12
	老人保健施設への転所	0	1	1
	他施設への転所	1	3	4
	自宅へもどる	0	1	1
	その他	0	0	0

通所介護(地域密着型通所介護、介護予防通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業)
福島恵風園デイサービスセンター

1. 運営管理

- (1) 利用者の生活の質の向上のため、担当者会議等に参加し家族や、各居宅介護支援事業所等と連携を図った。
- (2) 外部利用者の送迎を安全に安心出来る体制で実施した。
- (3) 入浴介助については、介護職員の確保をし、充実した介助を実施した。
- (4) 各種行事については、季節に応じたレクリエーション等を実施した。
- (5) 食事については、栄養士と連携し個々人のニーズに沿った提供を実施した。
- (6) 介護相談員派遣事業の訪問を受け入れ、意見交換を通し、質の向上に努めた。
- (7) レクリエーション・機能訓練等、楽しみながら心身活性化の実施をした。
- (8) 地域密着型への移行に伴い、年2回運営推進会議を開催した。
- (9) 利用者アンケートを実施し、サービスの質の向上に努めた。
- (10) 福島恵風園と合同で避難訓練を実施した。

2. 衛生管理

- (1) 空気清浄器を整備し施設内の消毒徹底を図り、感染予防に努めた。
- (2) 浴槽のレジオネラ菌の検査を年1回実施した。
- (3) 職員が感染の媒体にならないよう消毒を徹底した。

3. 地域交流活動

見学会・プチ体験会を実施した。

4. 利用状況

年間延べ利用者数		2,821 人
1日平均利用者数		11.7 人
稼働日数		242 日
登録者	人数(3月31日現在)	37 人
	支援1・2	3 人
	介護1	11 人
	介護2	9 人
	介護3	7 人
	介護4	4 人
	介護5	3 人

居宅介護支援

めぐみの風居宅介護支援センター

1. 活動状況及び事業内容

- (1) 他機関や各サービス提供事業所との連携を深めながら、介護ケアプランの作成や、委託事業である要介護認定訪問調査を実施した。
- (2) 委託を受けて、介護予防プランの作成を行った。
- (3) 利用者の生活の質の向上を目指し、サービス担当者会議の充実を図りながら介護ニーズへの総合的かつ効率的な視点に基づくサービス対応に努めた。
- (4) 福島恵風園内において定期的または随時に園内連携会議を実施し、円滑な役割分担の整理をして園内高齢者のニーズに即応した介護サービスの提供に努めた。
- (5) 事業所内外研修や自己研修での研鑽を重ねながら、専門職としての質の向上に努めた。
- (6) 地域包括ケアシステム構築に向けた地域ケア会議や地域ケア研修会への参加を行った。
- (7) 施設入所に際して情報提供のみでなく、施設と家族の間に入り連携と調整を行った。
- (8) 利用者の緊急時に対応するために、常時（24 時間）担当者と直接連絡をとれる体制を整え、休日、夜間、早朝ともに対応を行った。

2. 利用状況

居宅サービス計画作成実件数	87 件
予防委託実件数	6 件
給付管理年間総数	864 件
認定調査数	78 件
在宅訪問件数	1,021 件

訪問介護（指定訪問介護、介護予防訪問介護、予防介護・日常生活支援総合事業）

ホームヘルプステーションめぐみ

1. 運営管理

- (1) 主に福島恵風園在園者を中心に据えながら、在宅利用者に対してもホームヘルプサービスを提供した。個人の有する能力に応じた日常生活を営むことができるよ

- う、入浴・排泄・食事等の介助、及びその生活全般にわたる援助を提供した。
- (2) めぐみの風居宅介護支援センター、地域包括支援センター及び福島恵風園との連携を密にとりながら、利用者のニーズに十分配慮し、経営基盤の安定に努めた。
 - (3) サービス担当者会議及びリハビリテーション会議への出席等により、保健医療サービス、福祉サービス提供事業者との密な連携を図った。
 - (4) 利用者のニーズに対応するため、勤務時間帯を必要に応じて変更し、充実したサービス提供に努めた。
 - (5) 利用中の要支援者の介護保険更新時に「予防介護・日常生活支援総合事業」に移行する旨を説明し、契約を行い総合事業訪問型サービスの提供を行った。
2. 事業内容
 - (1) 訪問介護、介護予防訪問介護、予防介護・日常生活支援総合事業を提供した。
 - (2) 定期的な施設内研修会の実施・積極的な施設外研修会の参加をし、職員の資質の向上と専門性の研鑽に努めた。
 3. 衛生管理
 - (1) インフルエンザ感染予防処置のため、マスク等ウイルス対策用品を備え使用した。
 - (2) 万が一感染者が発生した場合に、媒体とならないよう消毒を徹底し、感染拡大防止に努めた。
 4. 利用状況

年間延べ利用者数		13,213 人	
1日平均利用者数		36.2 人	
稼働日数		365 日	
登録者	人数(3月31日現在)	52 人	
	介護度内訳	支援1・2	1 人
		介護1	10 人
		介護2	19 人
		介護3	13 人
		介護4	6 人
		介護5	3 人

生きがい型デイサービスセンター

福島市渡利デイサービスセンター

1. 運営管理

在宅で生活する介護保険対象外の比較的元気な高齢者及び家に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、生きがいと社会参加を促進するとともに、社会的孤立感の解消及び自立生活の助成に努めた。

2. 運営方針

- (1) 市の委託事業として、利用者の確保と各種行事の実施により、円滑かつ安定した事業の促進を図り、事業目的の達成に努めた。
- (2) 高齢者と子どもたちとの交流や、高齢者の生きがいと社会参加の促進に努めた。
- (3) 事業目的の達成のため、安全で安心して利用できるセンターとして、専門性を広く公開し、地域福祉の向上に努めた。

3. 事業内容

(1) 基本事業を実施した。

健康相談、送迎、入浴サービス、給食サービス（福島市契約書による）、レクリエーション、ふれあい交流事業を行った。

(2) 生きがい活動として、趣味活動、日常動作訓練、遠足等を実施した。

4. 利用状況

年間延べ利用者数	2,503 人
1日平均利用者数	10.6 人
稼働日数	237 日
登録者数(3月31日現在)	69 人

老人福祉センター

福島市わたりふれあいセンター

1. 運営管理

高齢者が健康で明るく楽しい日々を過ごすために、健康増進器具や囲碁・将棋及び図書、そして入浴並びに休憩等の施設を活用して憩いの場を提供した。

2. 運営方針

(1) 利用者の安全確保に努めるとともに、生活相談等の事業を実施することにより事業の目的達成に努めた。

(2) 地域の各種機関・団体との連携を図り、施設を地域コミュニティー活動の場として開放し、サービスの提供に努めた。

(3) 利用者が活動しやすい雰囲気づくりに努めた。

3. 事業内容

(1) 基本事業

高齢者の生活相談、健康相談、健康指導を行った。

(2) ふれあい交流事業

世代間交流事業に参加した。

4. 利用状況

利用者数	個人	9:00～18:00	22,169 人
		上記のうち入浴者	19,326 人
	団体	9:00～18:00	3 件
		上記の人数	97 人

保育所

福島隣保館保育所、福島保育所、瀬上保育所
福島わかば保育園、福島ふたば保育園、飯坂保育所

1. 運営管理

- (1) 多様なニーズに応え、保護者が安心して預けられるよう質の高い保育に努めた。
- (2) 一時保育、保育体験、避難者や地域のお年寄りとの交流を深める地域の保育ステーションとしての役割を果たすように努めた。
- (3) 保育の質の向上を図るため、テーマを決め全職員で年3回の年齢別研修に取り組み、保育の専門性向上に努めた。

2. 保育状況

- (1) 保育理念のもと、保育過程に基づき発達段階に応じた保育に努めた。
- (2) 保護者との共通理解のもと、家庭保育と集団保育との相互関係を大事にしながら保育を進めた。
- (3) 食育活動として、季節の食材に触れることや、クッキング活動等を通して、望ましい食生活について知らせ、健全な心と体を育てた。
- (4) 子どもの心身の発達を阻害する事象を見逃さないように努めた。

3. 食育状況

- (1) 食育年間計画、食育目標、食育方針を作成し、季節、年齢、発達段階に応じた食事の提供を行った。
- (2) 食の嗜好を常に把握しながら食事を提供し、保護者との連携を密に乳幼児の食生活の指導を行った。
- (3) 食育の促進について、保育士と栄養士との話し合いを深め全職員で取り組んだ。
- (4) 医師の診断をもとに、アレルギー除去食を実施した。
- (5) 食中毒防止に常に留意するとともに、安全を周知するように努めた。

4. 健康管理

- (1) 嘱託医による乳児健診（毎月）、内科健診（年2回）、歯科健診（年1回）を実施した。
- (2) 専門機関による尿検査（年2回）を実施した。
- (3) 衛生管理マニュアルに沿って、感染症の予防に努めた。

5. 安全管理

- (1) 建物、器具、遊具等の点検を行い、安全管理に努めた。
- (2) 消防署の指導のもとに、総合訓練（通報・避難・消火）を実施した。
- (3) 児童にわかりやすい防災、防犯の指導に努めた。
- (4) 交通安全指導の上で絵本や紙芝居を用いた実地指導を実施した。
- (5) 保育所に関する全ての個人情報取り扱いにおいては、関係者の同意を得ながら慎重に行った。

6. 施設職員の資質向上

- (1) 施設外研修に参加した。
 - ① 管内外の研修に参加した。
 - ② 各部会研修・研究会（施設長、主任保育士、保育士、給食担当者）へ参加した。
- (2) 施設協会内研修を実施した。
 - ① 実践記録から学ぶ保育

- ② 年間テーマに基づいた年齢別研修及び報告会
- ③ 講演会
- (3) 施設内研修を実施した。
 - ① 保育課程に基づき保育計画・行事等の検討及び反省
 - ② 園外研修参加者による報告
 - ③ 施設ごとにテーマを設定した自主研修

7. 利用状況

施設名		福島隣保館 保育所	福島 保育所	瀬上 保育所	福島わかば 保育園	福島ふたば 保育園	飯坂 保育所	合計
定員		120	120	80	60	90	90	560
3月31日現在	年齢別在籍人数							
	0歳	17	18	14	9	16	13	87
	1～2歳	50	44	34	20	31	37	216
	3歳	24	23	20	16	18	19	120
	4歳以上	48	53	32	28	44	38	243
	計	139	138	100	73	109	107	666
	充足率	115.9%	115.0%	125.0%	121.7%	121.2%	118.9%	119.0%
年間延べ	定員	1,440	1,440	960	720	1,080	1,080	6,720
	措置人数	1,618	1,712	1,187	837	1,313	1,209	7,876
	充足率	112.4%	118.9%	123.7%	116.3%	121.6%	112.0%	117.3%
	年齢別在籍人数							
	0歳	154	178	151	92	163	108	846
1～2歳	597	528	412	234	372	433	2,576	
3歳	286	312	240	194	216	218	1,466	
4歳以上	581	694	384	317	528	450	2,954	
	計	1,618	1,712	1,187	837	1,279	1,209	7,842

子育て支援事業

わかば子育てセンター、せのうえ子育て支援センター

1. 運営管理

核家族化少子化とともに、家庭機能の変化、地域社会のつながりの希薄化が進み、子育てに対する様々な問題が広がっている。子育てする環境が複雑になり、困難を抱える子育て家庭等で親子の関わり方が不安定になり、虐待につながる実態も多い。

そこで、子育て支援センターは親子に寄り添い、不安を受け止めるとともに、様々な情報を提供し、共に学び考え、遊びを通して子どもが健やかに育つよう活動してきた。また、関係機関と連携を図り、共に子育て支援事業を行った。

2. 事業内容

- (1) 子育て親子の交流促進を実施した。

保育園を開放してその機能を活かし、多くの人と交流し遊ぶ広場の活動を継続実施してきた。また、地域の親子がより気軽に子育てセンターの活動に参加出来るように、園外にも親子の交流の場をもうけた。

さらに、子育てサークルのリーダー研修、運営サポートをし、サークルの活動がより充実し楽しく活動が続けられるよう支援をした。

- (2) 子育て等に関する相談を実施した。

子育て全般について、電話相談、子育て支援センターへ来園しての面接相談、要請に応じて地域に出向いての訪問相談を実施した。

- (3) 子育てに関する情報を提供した。

パンフレット配布、ポスター掲示、ガイドブックやインターネットへの掲載

等により、活動内容の広報をするとともに「子育て通信」の発行、その他子育て情報の紹介、各種チラシの配布などを行った。

(4) 講習会を開催した。

講師を迎えて親の学習の機会や、親子での様々な体験活動を通して親と子が共に育つよう支援をした。

(5) 関係機関・施設と連携をした。

関係機関と連携、事業の協力を図りながら子育て支援に取り組んだ。

乳幼児健康診査への協力（福島市健康福祉部生涯健康課）、各学習センター講座講師、福島県子どもの心のケア事業協力、福島福祉施設協会子育て支援センター合同会議・行事。

(6) 研修会への参加、調査・学習研究活動をした。

3. 利用状況

事業別利用者数	施設名	わかば子育てセンター			
	事業項目	開催回数	利用数		
		(回)	子ども(人)	大人(人)	合計(人)
	子育て広場 ホール開放	225	864	741	1,605
	親子教室	13	162	154	329
	クラス交流	5	16	16	32
	赤ちゃん広場「ピヨピヨ広場」	34	328	334	662
	わかば「子育て広場」	12	197	171	368
	合計	289	1,567	1,416	2,996
	施設名	せのうえ子育て支援センター			
	事業項目	開催回数	利用数		
		(回)	子ども(人)	大人(人)	合計(人)
	子育て広場「いちようひろば」	125	833	673	1,506
親子教室「のびのびくらぶ」	14	143	146	289	
赤ちゃん広場「あかちゃんこんにちは」	33	178	177	355	
所庭開放	108	15	12	27	
合計	280	1,169	1,008	2,177	

児童厚生施設

福島市東浜児童センター、福島市野田児童センター

福島市蓬莱児童センター、福島市清水児童センター、福島市渡利児童センター

1. 運営管理

地域の児童健全育成の活動拠点として、児童に健全な遊びを通して、自主性、社会性を身に付け情操を豊かにするとともに、運動に親しむ習慣の形成等により体力及び健康の増進を図り、子育てサークル他青少年に関わる各種団体と連携し地域活動の育成助長を推進した。

2. 活動状況

(1) 子ども達が安全、安心に遊べる環境づくりに努め、体力の増進が図られた。

① 防犯上、保護者や学校等、各関係機関等と連携を図り安全管理に努めた。

- ② 遊具等の定期安全点検整備と充実
 - ③ 屋内外の各所修繕等による利用しやすい施設の維持管理
 - ④ 防火の推進、避難訓練の実施
- (2) 児童センターが気楽に立ち寄れる地域の安全な居場所として、センター主催事業の充実に努めた。
- ① 親子の触れ合いを配慮した事業の展開
 - ② 地域のニーズを把握した各種行事や教室、クラブ活動等の開催
- (3) 放課後児童クラブ活動の充実に努めた。
- ① 5 児童センター交流会の開催
 - ② 保護者会との連携及び会主催事業への積極的な協力
- (4) 児童センターの役割への理解と利用者の増加が図れるよう、独自の広報誌の発行、ホームページの更新等広報活動の充実に努めた。
- (5) 福島県及び福島市等の行政と連携を図り、子育て支援のために活動の場や各種情報の提供、育児サークルへの参加要請などを行い、安心して子育てが出来るように支援・協力を努めた。
- (6) 子育て支援を行っている関係団体とネットワークを持ち、地域組織の自主的な児童健全育成活動の支援を行った。
- ① 対外的な宿泊体験活動等の推進
 - ② 地域の安全点検活動等
- (7) 異年齢児交流事業や世代間交流の推進に努めた。
- (8) 地域社会の児童福祉にかかわるネットワークづくりのために関係各機関と連携を図った。
- (9) 地域組織の自主的な児童健全育成活動の支援を行った。(地域の安全点検活動等)
- (10) 地域社会の児童福祉にかかわるネットワークづくりのために関係各機関と連携をとって子ども理解に努めた。
- (11) 職員の資質向上を図るため、継続的な研修を実施した。
- (12) 中学生や高校生がボランティア等で参加出来る活動を行い、センター利用へつながるように努めた。

3. 利用状況

施設名		東浜 児童センター	野田 児童センター	蓬萊 児童センター	清水 児童センター	渡利 児童センター	合計
利用者数	幼児	1,307	1,954	323	396	1,825	5,805
	1～3年	5,701	16,043	5,858	12,007	10,647	50,256
	4～6年	1,281	1,945	591	135	1,815	5,767
	中高生	302	335	110	24	758	1,529
	大人	1,501	2,323	2,423	977	1,935	9,159
	計	10,092	22,600	9,305	13,539	16,980	72,516
	上記のうち登録児童	3,914	13,186	4,992	11,518	9,452	43,062
	1日平均利用者	34.4	76.7	30.9	45.6	57.6	245.2
開館日数(日)		294	295	302	297	295	